

## 1 学校教育目標

○進んで考える子      ○仲よく助け合う子      ○心と体をきたえる子      ○最後までやりぬく子

## 2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	生きる力を身に付けさせる学校	○学びの楽しさや喜びを発見できる学校	○豊かな人間性を培う学校
		○健やかな心身を育む学校	○地域・家庭から信頼される学校
○児童・生徒像	知徳体の調和のとれた児童	○主体的に学び、自分の考えをもち、表現できる児童	○豊かな心で自己と他者を認め、高め合える人権感覚の備わった児童
		○心身ともに健康でたくましい児童	○何事にも意欲的に挑戦し、粘り強く努力する児童
○教師像	使命を全うできる教師	○専門職として優れた知識や技術を備え、意欲的に研鑽に励む教師	○児童を大切にして、大人として手本となれる社会人
		○教育課題に適切に対応できる責任感と実践力を身に付けた教師	

## 3 学校の現状及び前年度の成果と課題

前年度の休校措置期間から始まり多くの予定変更や中止、感染防止医向けの新しい生活様式など環境の激しい変化の中でも、児童一同が健気に学校生活を送ることができた。そこには、教職員の努力もあるが、家庭の学校への理解と協力姿勢があったからこそという思いが強い。家庭・地域・学校の日常からの連携の重要性を改めて認識させられた1年であった。本年度も児童一人一人を見つめ、その家庭とも繋がりながら児童の知育・体育・徳育についての向上を目指したい。学習面では、安定した基礎力の定着と更なる向上を目指す。一人一台タブレット配布の GIGA スクール構想に即して、ICTを効果的に活用した授業作り、DX（デジタルトランスフォーメーション）での分析対応などの取り組みも目指したい。そのために日々授業改善に取り組む教員の授業力向上への研究も推進する。体づくりの面では、一昨年より続いているコーディネーショントレーニング地域拠点校としての経験値を生かし、脳と体のリレーションを重視し学力と道徳的実践力に結びつく体力育成を行う。そして子どもたちの豊かな心を育てていきたい。

## 4 重点的な取組事項

	内 容	実施期間（年度） R:令和				
		R1	R2	R3	R4	R5
1	学力向上アクションプラン	○	○	○	○	○
2	人権感覚を備えた豊かな心の育成	○	○	○	○	○
3	健やかな心身の成長を促す体力向上	○	○	○	○	○

## 5 令和3年度の重点目標

重点的な取組事項－1		学力向上アクションプラン							
A 今年度の成果目標		達成基準 (目標通過率)		実施結果 (通過率結果)		コメント・課題		達成度 ◎○△●	
全学年区調査通過率 80%以上 都・全国調査で平均点を上回る		区調査通過率				自己評価の際に記入			
B 目標実現に向けた取組み									
新・継	アクションプラン	対象教科 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認 方法	達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
1 新規	教員の授業 力向上	重点教科 国・算	通年	3～4人編成グループでの OJT研修と指導法研究	単元テスト	正答率90%以上	自己評価の際に記入		
2 新規	ICTの活用 DXの取組み	全科	通年	全教員の共通認識をもとに ICTの活用とDXへの意識	単元テストや 単元振り返り	児童の肯定的評 価			
3 継続	朝学習 朝読書	国・算 読書	火・木曜 水曜	担任指導 字ドリル・算ベー シックドリル 等	確認テスト	漢字・計算共に 90%以上の正答 率			
4 継続	放課後補充 教室	国・算	月火金 30分	全教員 国算ベーシックドリル	定着テスト	目標値通過			
5 継続	サマー スクール	国・算	夏休み 80分を 10日	全教員 プリント使用で 基礎力の定着を目指す	夏休み終了後 の確認テスト	受講前より正答 率の上昇			
6 継続	家庭学習の 推進	国・算を 主に	通年	小中連携活動のテーマで算 数を重点に指導	実施状況と学 力との相関				
7 継続	図書館活用	全教科	通年	調べる学習・読み聞かせ・ブ ックトーク・ビブリオバトル ・読書感想文	参加状況	各種方面の活性 化状況			

∞ 継続	各種検定	国・算・英	通年	漢検・算数検定・英検への受験とそれまでの学習会 開かれた学校づくり協議会	受験状況と結果	受験者の80%以上の合格		
---------	------	-------	----	---	---------	--------------	--	--

<b>重点的な取組事項－2</b>	人権感覚を備えた豊かな心の育成
-------------------	-----------------

A 今年度の成果目標	達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
自分を大切に 他者を尊重する心の育成	学校関係者評価において90%以上の児童が肯定的意見を示す	<b>自己評価の際に記入</b>		

<b>B 目標実現に向けた取組み</b>
----------------------

項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
人権尊重教育	学校関係者評価で90%以上の児童が人間関係に肯定的	人権プログラムを活用した道徳授業の充実と日常でのコミュニケーションスキル向上	<b>自己評価の際に記入</b>		
異年齢集団活動等の体験機会の実践	人間関係・学校生活に対して肯定意見90%以上	仲良し班活動、クラブ、校外学習、幼保小中連携の異年齢交流			
ボランティアマインドの醸成	学校生活に対して肯定的意見90%以上	オリンピック・パラリンピック教育交流会、道徳授業、クリーン運動、ユニセフ活動			

<b>重点的な取組事項－3</b>	健やかな心身の成長を促す体力向上
-------------------	------------------

A 今年度の成果目標	達成基準
スポーツに親しみ健康を意識できる姿勢を培い、体力向上を目指す。	個々の能力が全国平均を上回ることを目指す。体育好き児童90%以上

<b>B 目標実現に向けた取組み</b>
----------------------

項目	達成基準	具体的な方策
コーディネーショントレーニングの定着	体力測定記録の向上	体育授業や朝の時間に取り入れる

外部人材活用による 専門的指導と交流	体力測定記録の向上	短縄とび・長縄（ダブルダ ッジ）・投力・持久走 等			
体育授業の充実と 外遊びの推進	体育授業・外遊びへの肯 定的児童意見 90%以上	体育指導法の教員研修 スポーツ朝会や中休みの体育 的活用			

## 6 まとめ

### (1) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性

自己評価の際に記入します。  
経営計画の策定段階では、このページは行数を減らし  
て圧縮したり、ページ自体を削除したりした上で、公  
表していただいても差し支えありません。

### (2) 保護者や地域へのメッセージ

### (3) その他（学校教育活動全般について）

